

# 平成29年 第12回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成29年12月22日(金)  
午後3時00分～午後4時45分
2. 開催場所 柏原市教育委員会 委員会室
3. 出席した委員 教 育 長 吉 原 孝  
教育長職務代理 山 崎 裕 行  
委 員 田 中 保 和  
委 員 近 藤 温 子  
委 員 西 村 弥生子
4. 出席した職員 教 育 部 長 尾 野 晋 一  
次長兼教育総務課長 福 島 潔  
次長兼スポーツ推進課長 石 垣 好 啓  
次長兼学務課長 松 田 成 史  
社会教育課長 礪 部 賢 二  
文化財課長 一 松 孝 博  
公民館長 酒 谷 敬三郎  
公民館参事 富 宅 公 浩  
図書館長 山 角 清 治  
指導課長 野 間 浩 一  
健康福祉部長 石 橋 敬 三  
次長兼こども育成課長 篠 宮 裕 之  
事務局教育総務課 寺 川 款  
事務局教育総務課 井 上 敦
5. 議事案件  
  
議案第62号 平成29年度大阪府中学生チャレンジテスト(第3学年)の結果の公表内  
容について  
議案第63号 審査請求に対する裁決について
6. 報告事項 他

## 7. 会議録の承認及び会議の要旨

吉原教育長： 只今より、平成29年第12回定例教育委員会会議を開催いたします。それでは、本日の会議録署名については、山崎委員、よろしくお願いたします。次に、平成29年第11回定例教育委員会会議録の承認をお願いしたいと思います。会議録につきまして、何かご意見はございますか。

委員全員： (異議なし)

吉原教育長： それでは第11回定例教育委員会会議の会議録は承認することといたします。それでは議事に入ります。本日の議事案件は2件ございます。まず議案第62号について事務局から説明をお願いします。

野間課長： 議案第62号平成29年度大阪府中学生チャレンジテスト(第3学年)の結果の公表内容について指導課よりご説明申し上げます。別添の冊子をご覧ください。調査の目的及び概要は、前年度と変化はございません。教科については国語、英語、数学、理科、社会の5教科です。成果についてですが、まず国語科ですが「書くこと」「書く能力」「記述式」において、大阪府の平均を上回りました。これは本市で力を入れております「書く能力」についての取り組みの成果と思われます。しかし、短答式においては大阪府平均を下回りました。続きまして社会科でございます。「地理的分野」「歴史的分野」「社会的な思考・判断・表現」「社会的事象についての知識・理解」「選択式」「記述式」とほぼすべての領域、観点、問題形式について、大阪府の平均を上回っております。とりわけ記述式では府の平均を2.8ポイント上回っております。続きまして数学でございます。「数量や図形などについての知識・理解」において、大阪府の平均を上回っております。しかし、記述式においては、大阪府平均と大きな開きがございます。特に証明問題などに課題があり、根拠となるものを明らかにしたり、筋道を立てて考えたり、説明するという力に大きな開きがあることが明らかになりました。続きまして理科でございます。「物理的領域」「化学的領域」「生物学的領域」「地学的領域」の4領域、「科学的な思考・表現」「観察・実験の技能」「自然についての知識・理解」の4観点、「選択式」「短答式」「記述式」の問題形式については、すべての領域、観点、問題形式において、大阪府の平均を上回っております。続きまして、英語科でございます。全ての領域、観点、問題形式において大阪府と大きな開きがございます。特に「書くこと」「短答式」など全てにおいて課題がございます。2020年度から小学校において本格的に英語科が導入されます。今後、小学校、中学校でどのように取り組んで行くか、本格的に考えていきたいと考えています。以上、チャレンジテストの公表につきまして、ご審議をお願いいたします。

吉原教育長： この議案についてご質問はありますか。

山崎委員： 資料のレーダーチャート等は府から来たものかと思いますが、「特徴的な傾向と対策」については柏原市で作成したものでですか。

野間課長： 柏原市で作成したものです。

山崎委員： 国語、数学、英語が府の平均から見るとしんどくて、理科、社会は頑張っている。チャレンジテストであって、全国学力テストとは目的が異なると思うのですが、平均が50点を下回っている事に対して、府教委から何かコメントはないのでしょうか。

野間課長： 特にありません。

山崎委員： 教科別のアンケート調査結果ですけど、国語、数学、英語しか無いのはなぜですか。

野間課長： 理科、社会にはそもそもアンケート項目がございませんでした。

山崎委員： 「柏原市の結果からみる今後の課題」についてですが、教育委員会がすべきことの1番最後の「家庭学習の取り組み好事例の収集および学校への周知」とありますが、例えばどんなことがあるのか教えてください。また、学校がすべきことの最後「家庭学習の組織的な取り組みの推進」とありますが、どういう意味なのかお聞きしたい。家庭がすべきことの中にスマートフォンの問題が書かれていません。スマートフォンが家庭学習の時間を潰しているというのが現実だと思うので、これを解消しないと家庭学習時間の確保はできないのではないかと思います。

野間課長： 家庭学習の取り組み好事例ですが、ある中学校では家庭学習の手引きを作成するだけでなく、手引きに対しての保護者の意見を必ず書いてもらって、収集してフィードバックするという取り組みをしています。

山崎委員： そんな丁寧な対応をされている学校もあるんですね。凄いですね。

野間課長： 家庭学習の組織的取り組みとしましては、週末課題ということで、ある特定の教科を週末に必ず取り組むという事例がございます。

山崎委員： ウィークデイはどうですか。

野間課長： 状況に応じて各教科で出しています。

山崎委員： 家庭学習の量が多すぎたり少なすぎたりといったことが無いように、コンスタントに2時間ぐらいにできればいいですよ。

野間課長： 家庭がすべきことですが。スマートフォンについてはご指摘のとおり必要かと思えますので追記したいと思えます。

山崎委員： よくわかりました。

吉原教育長： 公表はいつごろの予定ですか。

野間課長： この後1, 2週間の内を予定しております。

吉原教育長： 公表方法は。

野間課長： ホームページで公表します。

吉原教育長： 英語と数学の成績が他市に比べて低い理由はわかりますか。

野間課長： 取り組みが進んでいないということかと思えます。

吉原教育長： 苦手を克服するための分析がもっと必要ではないかと思えます。他市に比べてなぜ成績が低いのか、教科の先生方で議論すべきではないですかね。

尾野部長： 今回の結果として府の平均と、市の平均と、それぞれの学校の成績は分かるので、これを受けて各校で対応していくと。

近藤委員：教科別のアンケート調査結果で、「授業の内容がよくわかる」の項目が当てはまる、どちらかといえば当てはまるという回答が大阪府の平均より低くなっているのが残念だなと思えます。分かる子も勿論いるのですが、ちんぷんかんぷんな子も一定数いるのではないかと思います。先生がどれだけ教えるのが上手であっても、習熟度が違う子供が同じ授

業を受けているというのは厳しいところがあるのではないのでしょうか。

野間課長： 特に数学については少人数加配ということで、加配教員がおりますのでこちらの方でも積み上げていかないといけないと思います。英語については、中学校1年からスタートしておりますので、やはり教科の特性としまして、しっかり積み上げていくことが重要かと思います。

吉原教育長： 習熟度別授業を行っているのは数学だけですか。

野間課長： 国語、数学、理科、英語です。その中から学校の方で判断して与えられた範囲の中で実施しています。

吉原教育長： 習熟度別授業を行っていない学校はありますか。

野間課長： ございません。

吉原教育長： 他市に比べて習熟度別授業の数が少ないから、成績が低いという仮説を立ててみたのですがどうでしょうか。

野間課長： 他市に比して習熟度別授業が少ないということはありません。

山崎委員： 例えば1年生で3クラスあったら、習熟度別にAクラス、Bクラス、Cクラスと再編成して、内容の違う授業をしているのですか。

野間課長： そうです。そのために各中学校平均して2名の加配教員を与えています。

山崎委員： 加配教員がいなくてもできますよね。

野間課長： 加配教員がいなくても行っています。

田中委員： 習熟度別授業というのはずっとなのか、それとも单元ごとなのですか。

野間課長： ずっとというのは困難ですので单元ごとです。

田中委員： 分析は難しいと思いますが、学校別の成績を見て習熟度別授業を行っているところが成績が良くて、行っていないところは良くないのかというのが分かればいいですね。

吉原教育長： どう分析して、どう変えていくかが一番大事ですよ。

山崎委員： いままでそういう分析をしたことはありますか。

野間課長： 学校ごとには行っていますが、チャレンジテストや全国学力テストで全校的には行っていません。

吉原教育長： そういう指示を出して、市教委としても状況を一定把握して、取り組んでいけば全体として成績が上がっていくと思いますね。

田中委員： 英語のグラフを見ると、上位層が府平均より少ないですよ。そして下位層が膨らんでいます。これこそ習熟度別授業を行って、下位層を中位層へ引き上げて、上位層はもっと伸ばしてということができれば効果が出ると思います。

近藤委員： 習熟度別授業は非常にありがたいと思っているのですが、授業だけでなく下位層だけの簡単な週末課題を加えるとか、簡単にできることからでも違ってくると思います。アンケートで無回答が9パーセントもいますよね。どう答えていいのかわからないから無回答にするのかなど。優しい問題を週末課題でそういう子たちに出すといった工夫をお願いしたいと思います。また、入学説明会があるので、学校の先生からスマートフォンが本当に必要なかという話を先生方からしていただけたらと思います。

尾野部長： 今年からなのですが、先生方の横のつながりがなかったので、来年の1月にも教科ごとの研究授業を行ってレベルアップを図ろうという取り組みを始めています。今回の結果を受けて、先生方も次に生かして行こうということになると思います。

西村委員： 大阪府全体もそうかもしれないですけど、理系教科が弱いかなと思いました。社会とか理科とか単元的に得意なものがあればそこで稼げるでしょうけど、みなさん苦勞されているんだなと思いました。書くこともそうですし、人に向かって説明したり、本人が先生代わりになってみんなの前で説明すると理解も深まると思います。書くだけだとしんどいという子もいると思うので、意欲という点で「説明したら分かってもらえた」という体験が次に繋がってくるのではないかと思います。

田中委員： 先程近藤先生がおっしゃった無答率が高いというお話ですが、全国学力テストが始まったところに大阪府の無答率が高いということがありましたね。

尾野部長： 今は小学生のはぐくみテストにおいて「分からなくても何か書きなさい」という指導をしてくれていますので、無答率は減っていく傾向にあると思います。

吉原教育長： 議案第62号について、原案を一部修正して承認してよろしいでしょうか。

委員全員： （異議なし）

吉原教育長： それでは、議案第62号平成29年度大阪府中学生チャレンジテスト(第3学年)の結果の公表内容については、原案を一部修正して承認することといたします。

吉原教育長： 次の議案第63号の審議につきましては、審議資料に所得など個人の情報に関わるものが多数含まれますことから、非公開にて審議したいと思いますが、各委員におかれましてはご異議等ございますか。

委員全員： （異議なし）

吉原教育長： それでは、議案第63号の「審査請求に対する裁決について」につきましては、非公開とし教育委員会と事務局学務課とで審議することにいたします。

議案第63号を除いて、本日の議事案件は以上です。続いて、報告事項に移ります。事務局の方で報告すべき事項はありますか。

議部課長： 【成人式について報告】

吉原教育長： 何か質問はございますか。無いようですので次の案件をお願いします。

尾野部長： 【平成29年第4回市議会定例会について報告】

吉原教育長： 何か質問はございますか。無いようですので次の案件をお願いします。

松田次長： 【堅上小中学校(小規模特認校)の入学人数について、部活動による指定校変更制度について報告】

吉原教育長： ただいまの報告で何かお聞きになりたいことはありますか。

委員全員： （意見等なし）

山崎委員： スタディーアフタースクールについてお聞きします。来年に向けて改善が必要だということで、関西福祉科学大学の学生さんが沢山参加してくれるというお話があったり、市内在住の教員OBにお手伝いいただくといった良い話などいろいろお聞きはしているんですけど、来年に向けて変えていくことはありますでしょうか。

野間課長： 小学校の校長先生と話し合っている段階でございます。関西福祉科学大学の学

生の増員というのは大変歓迎すべきことで、積極的に受け入れて曜日を増やすことができればと思っています。地域の人材の活用ですが、具体的にどういう方法でというのはありませんのでこれから取り組んでいければと思います。

山崎委員： どんな方法でもいいので、予算のついた事業である以上成果を出していただきたい。各校の課題ははっきりしているのだから、教育委員会がイニシアチブをとって改善してほしいと思います。毎年同じことをしては課題ばかりが積みあがってしまうので、どうぞよろしくをお願いします。

吉原教育長： 他にご意見ございますでしょうか。

委員全員： （意見等なし）

吉原教育長： 各課からの報告は以上です。平成30年第1回定例教育委員会会議につきましては、平成30年1月23日（火）午後3時の予定です。

委員全員： （了承）

吉原教育長： 2月については平成30年2月7日（水）午後3時30分はいかがでしょうか。

委員全員： （了承）

吉原教育長： 議案第63号の前にここで一旦休憩としまして、再開は午後4時15分からといたします。

#### 【休憩】

吉原教育長： それでは、教育委員会会議を再開いたします。議案第63号について、事務局から説明をお願いします。

北井参事： （案件について説明）

吉原教育長： ご意見・ご質問はございますか。

#### - 質疑応答 -

吉原教育長： 審議の結果議案第63号を原案通り承認してよろしいですか。

委員全員： （異議なし）

吉原教育長： それでは、議案第63号審査請求に対する裁決については原案通り承認いたします。以上をもちまして、平成29年第12回定例教育委員会会議を閉会します。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

平成29年12月22日

柏原市教育委員